



えが お

教育目標

進んで学ぶ子
思いやりのある子
笑顔はじける元気な子



真名子小HP

令和6年6月25日 発行

発行者 神宮司賢一郎

学力向上に向けた取組

令和5、6年度の2年間、市から学力向上推進研究の指定を受け、西方中、西方小と連携しながら研究を進めています。西方ブロック全体の研究主題「学び合う力を高める学習指導の在り方」を受け、本校の研究テーマを「対話を重視した『考えたくなる』授業づくり」とし、公開授業や授業研究会を進めています。

各学年の発達の段階に合わせて、授業の中で子どもたちがお互いの考えを伝え合う活動を積極的に取り入れます。友達の考えを聞くと、自分の考えが深まったり新たな考えが生まれたりします。学習活動における対話を通して、子ども同士がつながる、子どもたちが教材や学びとつながるなどといった学習場面を多く取り入れ、学力向上につながる授業実践を推進していきます。



1年生算数科 時計の模型を使って学び合い



5年生算数科 黒板の前で考えを伝え合い



市教育委員会を招いた指導案検討会

学習強調週間(6/3~6/7)の振り返りから

- [O.Hさん]「ベンきょうをつづけられました。」
- [K.Eさん]「けいさんやベンきょうなどをがんばりたいです。」
- [O.Kさん]「いつもより、テレビを見る時間が少なくなりました。」
- [O.Kさん]「ゲームやテレビを見ないで、学習できました。」
- [I.Yさん]「話す人を見てしっかり聴くことを、もう少しがんばりたいです。」
- [E.Sさん]「自分の考えを工夫して、相手に分かりやすく考えを伝えたいです。」

水泳学習が始まりました！

真名子っ子が楽しみにしていたプールでの水泳学習が始まりました。

今年度もプールが気持ちよく使えるよう、5月26日(日)に保護者の皆様に御協力いただき

プール清掃を実施しました。プール内にたまった泥やプールサイドに生えてしまった草を取り除くなど、1時間半程度の作業となりました。御協力、ありがとうございました。



プール清掃

5月29日(水)、プール事故防止研修を実施しました。スイミングスポーツクラブ、消防署から講師を招き、水難事故と救助方法、心肺蘇生法の実習を行いました。一年にたった1回の実習ですので、不安があったり忘れていたりすることがあります。それを実習で思い出し、安全に水泳指導ができるよう努めてまいります。



水難救助法の実習



心肺蘇生法の実習

そして、6月3日(月)、清々しい気候の中、プール開きを実施しました。頑張りたいことの発表では「クロールを頑張りたい!」、「息継ぎをできるようにしたい!」といったためあてを発表することができました。低・中・高学年ごとに水泳学習を行います。水泳学習がある日は、「さくら連絡網」の健康チェックへの入力をお願いします。



プール開き

地域の力をお借りして

本校教育活動では『ふるさと真名子』を子どもの心に刻む教育の一環として、地域の力を多くの場面で活用させていただいています。3年生から6年生の児童が取り組んでいるクラブ活動でも、講師として地域の方に御協力いただき指導していただいています。

さまざまな活動において地域の方と交流することで、子どもたちと地域の方がつながり、地域を愛する児童を育成してまいります。今後も、御協力のお声掛けをさせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。



「絵手紙クラブ」の様子



「ふるさと民話クラブ」の様子



「オカリナクラブ」の様子

5年生校外学習（6月13日）

社会科学習の一環として校外学習を実施いたしました。

「県南地方卸売市場」さんでは、安全で安心な食材を届ける重要な役割を担っている市場の働きを、「いすゞ自動車」さんでは、工場では人が少なく、その代わりにたくさんのロボットが動いてエンジンを組み立てている様子などを、「丸伊運輸」さんでは、栃木県南部を中心に物資を配送している仕組みなどを学びました。



「県南地方卸売市場」さん



「いすゞ自動車」さん



「丸伊運輸」さん

県民の日集会（6月14日）

6月15日の「県民の日」に合わせ、県民の日集会を実施しました。

校長講話のめあてを「クイズに答えながら栃木県のことをたくさん知って、栃木県を大好きになろう」とし、栃木県に関するクイズに答えてもらいました。

『栃木県はどれでしょう？』

→ 北関東3県の中から栃木県を選ぶクイズ。高学年は正解できていました。

『栃木県は何歳でしょう？』

→ 県政151年目を迎え、本校と同じ年なので覚えやすいです。

『栃木県の面積は全国で何番目でしょう？』

→ 真ん中よりもちょっと上の20番目が正解。先生たちも悩んでいました。

『栃木県の県獣は？』

→ 子どもたちは、ほとんど正解できました。カモシカです。

『栃木市出身の山本有三さんは？』

→ 写真から山本有三さんを選ぶクイズ。こちらもほとんど正解でした。

子どもたちには、真名子地区とともに栃木県のことをたくさん知り、郷土に誇りがもてる子になってほしいと思います。



栃木県に関するクイズ



「栃木県民の歌」を歌いました



暑い日が続いています。

熱中症に十分注意しましょう。

